

めんたるへるす 京都

69

2025. 9. 1 発行

一般社団法人
京都精神保健福祉協会
〈事務局〉
〒604-8804
京都市中京区壬生坊城町 48-6
京都社会福祉会館 2F
一般社団法人 京都精神保健福祉協会
TEL&FAX : 075-822-3051
e-mail : k_shf_kyokai04@yahoo.co.jp
<https://kyoto-mental.org/>

京都精神保健福祉協会 顧問就任の御挨拶

京都市保健福祉局 上 田 純 子
(一社京都精神保健福祉協会 顧問)



この度、一般社団法人京都精神保健福祉協会の顧問に就任いたしました京都市保健福祉局長の上田純子でございます。平素より本市の精神保健福祉行政の

推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和37年の設立以来、「こころの健康づくり大会」や「こころのケア講演会」の開催、「めんたるへるす京都」の発行等の活動を通じて、長きにわたり、京都の精神保健福祉の推進に大きく貢献してこられました。また、とりわけ本市との関係では、平成14年以降、府市協調で設置する精神科救急情報センターの受託団体として、夜間休日の精神科救急医療に関する相談対応や医療・行政機関等との連絡調整を担っていただいております。京都の精神科救急医療システムの運営において、貴協会はなくてはならない存在です。日頃から、山下俊幸会長をはじめとする協会の皆様方に多大なる御尽力をいただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、虐待の防止などが新たに規定された改正後の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の本格施行から1年が経過しました。本市におきましても、これまでから毎年実施している

精神科病院に対する実地による指導監督を通じて、改正法の適正な運用について確認を行うとともに、精神障害のある方の権利擁護をさらに推進してまいります。

また、昨年11月には、全市会議員の共同提案・全会一致による「京都市ケアラーに対する支援の推進に関する条例」が成立・施行されました。この条例に基づき、ケアラーを社会全体で支え、自己実現を図ることができる社会の実現を目指し、あらゆる関係者等が参画する協議会を設置するなど取組を進めております。

今後とも、貴協会をはじめとする関係の皆様と共に、精神障害のある方とその家族が地域で安心して生活できるまちづくりを目指して、本市精神保健福祉施策の更なる推進に力を尽くしてまいります。引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

落語で学ぼう精神障がいのこと～心の病への対応のいろは～ 明日葉ピアサポーターズクラブ『with どんぐり』またき亭いっばい

京都光華女子大学 村 上 貴 栄

令和7年2月8日開催の「こころのケア講演会」
講演要旨

「こころのケア講演会」にお呼びいただいてありがとうございました。またき亭いっばいさんと村上はいっばいさんが精神障害についての体験談を落語にし、村上がいっばいさんに話を聞きながら精神障害への対応について話すというスタイルで、全国各地で講演活動をしています。

精神科デイケアで落語と出会い、担当 PSW であった村上から「体験談を落語にしてみよう」という話があり、自身の体験やデイケアの周囲の人たちのことを落語にしてきました。精神障害者が落語を演ること自体が珍しく、またき亭いっばいさんが落語の冒頭で「これって笑っていいのかな、と思う方が大勢いらっしゃると思いますが、僕の落語は大いに笑ってくださいね。笑ってもらえないと僕の気持ちのほうに『いっばいいいばい』になってしまいます」と話すように笑いを交えた形で精神障害について知ってもらう形も珍しいものではないかと考えています。

やり始めた当初はいっばいさんのトークが下手なこともあり、精神障害の啓発落語をしてもらい、村上が精神障害への対応について講演を行う形で進めていましたが、講演の中でいっばいさんのエピソードや PSW とのかかわりについても忌憚のない内容で話すことで講演自体も笑いのある内容になってきました。

今回の講演会でも、いっばいさんがデイケアに参加し出したとき、なかなかデイケアになじめず、休む連絡が来るたびに「もう死にたい」と話していたため村上が「今から家に行くから」と話すと「いえ、家に来ないでください」と拒否し、何度か話す中で「(家に来てほしくないから)明日からはデイケアに行きます」という話になったエピソードやデイケアで落語が始まることになった話、啓発落語で「第8回精神障害者自立支援活動賞(通称リリー賞)」をいただいたときに、その電話を「振込詐欺」と間違えて電話を切ってしまった話、講演会で北海道で晩御飯を食べたときに「鮭茶漬け」を二杯頼んだ話など、落語講演などでのエピソードをお話しさせていただきました。講演の中でこのように PSW と当事者が自分たちの思いについて笑いを交えて話せるのが、二人で行う講演の良さでもあります。



講演の中ではもちろん精神障害の啓発や対応の仕方についても話をしています。精神障害者の脳の動きについて、いっばいさんから「僕の頭は Windows95 くらいしかないのに最新の PC ソフトを動かそうとしているようなものでメモリが足りなくてなかなかデータを読み込まない状態」という精神障害によって脳に起きている問題について話をしてもらいました(スマホ世代にはギガを使い果たして制限がかかっている状態と考えてもらうのが分かりやすい)。他にも精神障害になって起きる認知機能の問題についてコミュニケーションなどの社会機能として表に出てくることで判断しがちですが、精神障害者の場合、記憶などの基礎的認知と状況判断や相手と自分の境目の理解などの社会認知に問題が生じているためコミュニケーションがうまくいかなくなっていること、いっばいさんの場合特に「悪いことを自分のせいにしてしまう」「ネガティブな方法や間違った方法を選んでしまう」考えることの障害や「場面を考えた発言ができない」「自信がなく発言できない」などの伝えることの障害もあり、極端な結論にむずびついたりしてしまうことが増えるという話をしてくれました。

精神障害へのかかわり方として、幻聴や妄想といった症状にかかわるのではなく、その症状によって「しんどくなっている」「不安になっている」気持ちに理解を示すことや心配していることを伝えることが大切であると話しました。また対応の仕方として「コンプリメント」をすることに提案しました。コンプリメントとは、ほめる、認める、承認する、ねぎらう、賛同する、敬意を表すといった「正のフィードバック」を指します。相手を認め、できたところを誉め、頑張っていることをねぎらうことで精神障害者

の「リカバリー」を促進することができることをお伝えしました。

最後に精神障害に対する補装具は人と人の「つながり」であり、精神障害にならない社会をめざすのではなく、精神障害になっても安心して自分らしく暮らしていける社会、精神障害になっても受け入れてもらえる社会を作ることを目指すことが大切であるとお伝えしました。

紙面では落語をお伝えすることができず残念ですが以下にまたき亭いっばいさんの落語の動画（京都の講演とは違うものですが）URL を付けておきますので興味がある方は一度観ていただければと思います。

・「医者と妄想と私」

https://youtu.be/aPARRWmRbuk?si=Pq6LygT_3jFgdws4



・「そうめんに割り下」

https://youtu.be/GsVjewvMEec?si=lpj_yo32798KxD47



また講演とは違いますが、二人での講演でのやりとりを漫才風にした動画についてもよろしければご覧ください。

・「またき亭いっばい講演二人はムチャブリ！」

<https://youtu.be/cE1MGzeVsQA?si=frknCUE3LHfQEwm3>



また機会があればお呼びいただけると幸いです。



孤高の人 杉本和子さんを偲ぶ

NPO 法人ハートブライト理事長 野 地 芳 雄

3

杉本和子さん（73才）が6月11日に逝かれたことを京都精神保健福祉協会の吉村さんからご連絡を頂いた。老後の人生をまだまだ楽しんでもらいたい年齢なのになぜという思いが募った。杉本さんと私の出会いは、ふれあいサロン円町のボランティアに来ていただいたことに始まる。

サロンでの利用者へのかかわり、対応の様子を見ながら精神保健福祉の活動経験のある事を感じた。

どんなに学歴と資格があっても、心病む人にかかわる課題のある人と、現場で学びユーザーから教えられ、人間を大切にするとどちらを選ぶかと問われたら、私は後者を選ぶことにしてきた。杉本和子さんをあけぼの会共同作業所（現・夢花咲塾あけぼの）に採用し、一年間の現場経験をみて、私の後任を託した。

家族からの200万円の寄付で厨房を設け、利用者に食事の提供開始、事業所のリニューアルとその内覧会の開催。見学に来られた多くの関係者にバラ寿司をつくり、提供するなどその活躍は特筆されるものだった。期限付の証紙貼りの仕事の受注でも、土曜日、一人で証紙貼り

の作業に取り組む現場に出くわし、責任感の強さを感じることがあった。

京都市内のボランティアに参加を呼びかけ風のリンケージを組織し結成の集いと事後の数々の事業の企画力、実行力、それも就労支援事業所の運営責任を果たしながらの優れた手腕に触れ心の底で拍手を送っていた。

しかし、その陰で多くの協力者が離れていったことに危機感を感じない「感性」とは何であったのか？

人にはそれぞれ個性がある。表向きの強い表現の裏に隠された孤独と、過度のプライドの背景に触れた機会があった。それが何によって育まれたのかはわからない。もし、誠と利他の心に裏打ちされた人と思う心根があったならと思うと残念でならない。鬼籍の入となられた今は、現世の課題に思いを致され、煩惱をもって生きる私たちに御仏の慈悲を与えて欲しいと願う。

合 掌

令和7年7月15日

事務局便り

《こころのケア講演会①》

日 時：令和7年9月23日（火・祝）14:00～16:30
会 場：ハートピア京都3階大会議室
テーマ：「トラウマ・インフォームドケア」
講 師：武藤 博仁 氏（京都文教大学心理臨床センター特任カウンセラー）
司 会：藤本 麻起子 氏（京都府臨床心理士会会長）

《こころの健康づくり大会・京都2025》

日 時：令和7年11月29日（土） 夜間
場 所：ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館）3F大会議室
式 典：令和7年度精神保健福祉功労者表彰
記念講演：テーマ「ピアサポーターの活動」仮題）
参加料：無料

《こころのケア講演会②》

日 時：令和8年1月10日（土） 午後
会 場：ハートピア京都3階大会議室
テーマ：社会的共通資本やウェルビーイングなまちづくり
講 師：占部まり先生（内科医、宇沢国際学館代表取締役）

理事会・総会報告

令和7年6月26日（水）京都社会福祉会館会議室で対面とZOOMによる令和7年度第1回理事会を開催、令和6年度の事業報告、収支決算が承認されました。

引き続き行われた総会では、行政の人事異動に伴う役員交替が行われ、また、理事会承認事項が承認されました。

なお、令和6年度末における協会の財政状況は下記の通り。

役員名簿掲載

役員は下記の通り。

会長 山下 俊幸 氏（京都府立洛南病院名誉院長）
副会長 三木 秀樹 氏（京都精神科病院協会会長）
常務理事 中村佳永子 氏（京都府精神保健福祉総合センター所長）
常務理事 市川佳世子 氏（京都市こころの健康増進センター所長）
理事 内田 英公 氏（日本精神科看護協会京都府支部支部長）
奥井 滋彦 氏（京都精神神経科診療所協会会長）
山本 幸博 氏（京都精神保健福祉施設協議会副会長）
三本松 賢 氏（京都市保健福祉局障害保健福祉推進室施設福祉課長）
静 津由子 氏（京都精神保健福祉推進家族会連合会会長）
堀 雅清 氏（京都府健康福祉部障害支援課精神・社会参加担当参事）
知名 純子 氏（京都精神保健福祉士協会会長）

長澤 哲也 氏（京都社会福祉士会会長）
武元 正史 氏（京都市西京区役所保健センター健康福祉部長）
西村 幸秀 氏（京都府医師会理事）
藤本麻起子 氏（京都府臨床心理士会会長）
平野 慶治 氏（日本てんかん協会）
重見 博子 氏（京都府保健所長会会長、山城北保健所所長）
森 志勇士 氏（京都府作業療法士会副会長）
村井 俊哉 氏（京都大学大学院医学研究科教授）
吉岡 隆一 氏（京都府立洛南病院院長）
杉本 二郎 氏（杉本医院からすまメンタルクリニック）
足立 操 氏（京都府社会福祉協議会常務理事）
芳賀 正昭 氏（京都市社会福祉協議会常務理事）

監事

お知らせ

（一社）京都精神保健福祉協会名誉会長のご逝去

当協会の名誉会長小池清廉様が、令和6年12月7日（土）ご逝去（92歳）されました。

ここに永年にわたる多大なご指導、ご支援に深く感謝するとともにご冥福をお祈りいたします。

会員募集

一般社団法人京都精神保健福祉協会は、会員組織の民間団体です。

機関誌の発行、講師の紹介、講演会・懇話会・研修会の開催など、家族、育児、教育、保健、医療、福祉、職場、幼児から老年期までのこころの問題とケアについて、啓発活動を行っています。

会員の資格は問いません。入会を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

＜年会費＞

- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| 1. 正会員 | 個人 | 1人1カ年 | 3,000円 |
| | 団体 | 1口1カ年 | 10,000円 |
| 2. 賛助会員 | 1人1カ年 | | 2,000円 |
| 3. 特別会員 | 1口1カ年 | | 10,000円 |
| | | | （3口以上） |

＜郵便振替＞ 00920-8-194405

一般社団法人 京都精神保健福祉協会

会費未納の会員のかたへ

令和7年度の会費が未納の会員のかたは、お納めいただくようお願い致します。

貸借対照表

（令和7年3月31日現在）

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1.流動資産合計	4,595,730	1.流動負債合計	4,184,953
2.固定資産合計	5,243,822	III 正味財産	5,654,599
資産合計	9,839,552	負債及び正味財産合計	9,839,552